

取り組みたい地域課題の集計結果

各委員から事前に取り組みたい地域課題について、アンケートを取りました。その結果として次のようになりました。

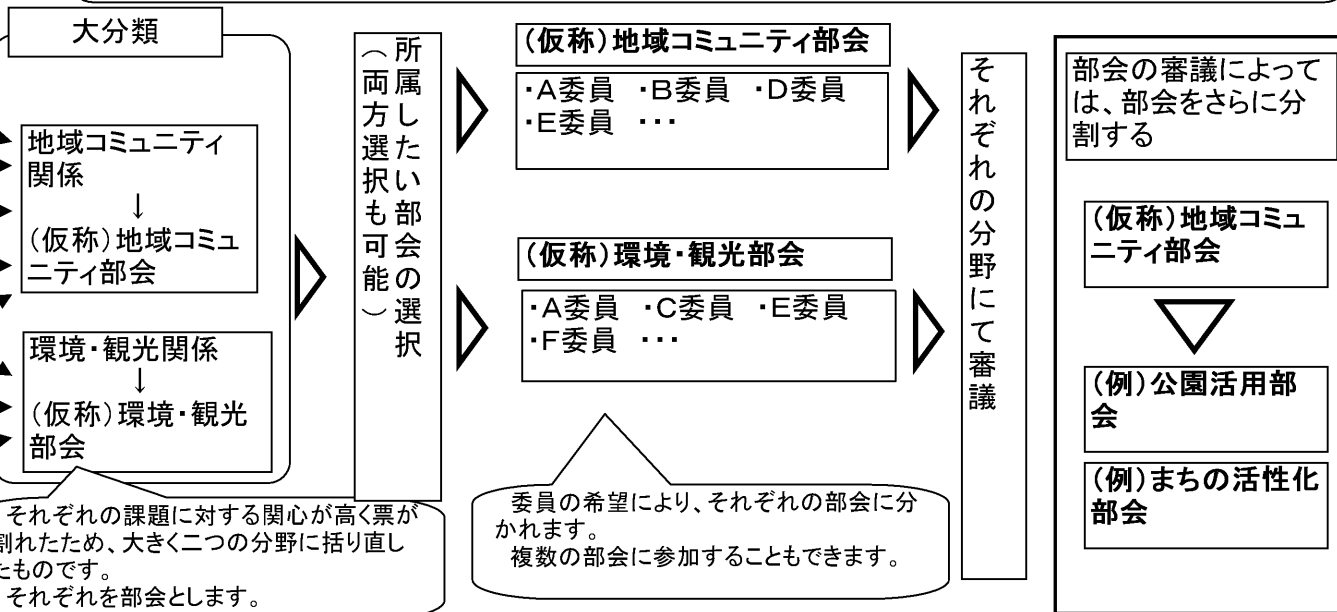
取り組みたい地域課題の集計

1. 地域コミュニティの活性化	12票
2. 高齢者が住みやすい地域づくり	7票
3. 市民活動の活性化	7票
4. こどもが住みやすい地域づくり	5票
5. 観光推進	5票
6. 防犯、防災対策	5票
7. 多摩区の歴史	4票
8. 地球環境推進	6票

8つにグループ分けした地域の課題について、委員が取り組みたいまたは興味深い課題を、それぞれ3つずつ選択しました。

事務局案① 投票結果をもとに大きく分野を設定する案

各委員の取り組みたい課題が多岐に渡るため、テーマを再分類して大きく審議する部会を設置します。部会の中で、審議テーマを決定していきます。ひとつの審議テーマのまとめが出来れば、次の審議テーマに移っていくこともできます。また部会の審議を行っていく上で、部会を2つに分けていくことも考えられます。



事務局案② 投票結果をもとに部会を決定する案

集計結果を参考に、審議したいテーマを2~3つ選び、そのテーマごとに部会を設置する。

1. 地域コミュニティの活性化	12票
2. 高齢者が住みやすい地域づくり	7票
3. 市民活動の活性化	7票
4. こどもが住みやすい地域づくり	5票
5. 観光推進	5票
6. 防犯、防災対策	5票
7. 多摩区の歴史	4票
8. 地球環境推進	6票

話し合いにより決定

1. 地域コミュニティの活性化
2. 高齢者が住みやすい地域づくり
8. 地球環境推進

部会の設置

- (仮称)地域コミュニティ部会
・A委員 ・C委員 ・E委員…
- (仮称)高齢者が住みやすい部会
・A委員 ・C委員 ・F委員…
- (仮称)地球環境推進部会
・B委員 ・C委員 ・E委員…

委員の希望により、それぞれの部会に分かれます。複数の部会に参加することもできます。

それぞれの分野にて審議

地域課題まとめ

※7ページ、8ページの区民会議委員の把握している課題と、9ページの区役所の把握している課題で区民会議にて検討する課題の候補をまとめたものです。
 ※①～⑰は、7ページから9ページまでの課題の番号と一致しています。

<p>1. 地域コミュニティの活性化 (②、③、⑤、⑦、⑪、⑫、⑬、⑭、⑮)</p>	<p>②、“多摩区のうた”をつくり、うたを通してコミュニケーションと交流の輪の拡大 ③、町会、学校、職場、公共施等での日頃の防災訓練、講習会等の実施 ⑤、地域で活動している市民団体や個人の活動・人的資源を活かし、地域コミュニティの活性を図る。 ⑦、ご近所パワーの構築・・・隣り同志の連帯感。孤独、防災、子育て等お隣の力(共助)が必要 ⑪、ご近所の空き地に老若男女が集い交流し、1週間に1度のラジオ体操を普及。 ⑫、スポーツ大会、趣味等で交流し、家に引きこもらずに地域活動に参加しやすくする ⑬、シニア世代の人材を活用する。資格、技能等でグルーピング化し、必要に応じてNPO・高齢者・保育園・幼稚園等へも応援派遣する体制の構築 ⑭、団地の中、町内会などの中での交流会、イベント、お祭りなどを促し、そこで一緒に参加した人は「ご近所さん」という意識をつける ⑮健康づくりと介護予防を目的とした「みんなの公園体操」や、身近な公園での「こどもの外遊び」事業を地域に根ざすことによって、コミュニティの活性化を目指す。</p>
<p>2. 高齢者が住みやすい地域づくり (①、⑦、⑪、⑬、⑭)</p>	<p>①、いこいの家に通うのは遠距離の人々が難点あり、高齢者の為に、近隣に集合場所の設置検討 ⑦、ご近所パワーの構築・・・隣り同志の連帯感。孤独、防災、子育て等お隣の力(共助)が必要 ⑪、健康の維持の為に、1週間に1度のラジオ体操を普及。 ⑬、高齢者のための法律・医療・資産税務及び各種イベント・健康スポーツレジャー等のサポート ⑭、地域での助け合いを行っている団体のノウハウを参考にさせてもらう。 ⑮、健康づくりと介護予防を目的とした「みんなの公園体操」を地域に根ざすことによって、コミュニティの活性化を目指す。</p>
<p>3. 市民活動の活性化 (⑤、⑫、⑬)</p>	<p>⑤、地域で活動している市民団体や個人の活動・人的資源を活かし、地域コミュニティの活性を図る。 ⑫、例えばスポーツ大会、趣味等で交流し、家に引きこもらずに地域活動に参加しやすくする。 ⑬、シニア世代の人材を活用する。資格、技能等でグルーピング化し、必要に応じてNPO・高齢者・保育園・幼稚園等へも応援派遣する体制の構築</p>
<p>4. こどもが住みやすい地域づくり (①、②、⑦)</p>	<p>①、こ文に通うのは遠距離の人々が難点あり、子育て中の若い母親達の為に、近隣に集合場所の設置検討 ②、地域のこども達の健全育成を支援できる地域社会づくり ⑦、こども会の活性化・・・年齢制限、少子化等衰退の要因を探り、こども同士の絆の構築を図る ⑮、身近な公園での「こどもの外遊び」事業を地域に根ざすことによって、コミュニティの活性化を目指す。</p>
<p>5. 観光推進 (⑧、⑨)</p>	<p>⑧、藤子・F・不二雄ミュージアム(仮称)への客層への諸サービス体制を作り、PRの方策を検討、実施していく ⑨、長い間、恩恵に与ってきた二ヶ領用水の保全、改良をPRしていく</p>
<p>6. 防犯、防災対策 (③、⑥)</p>	<p>③、防災対策の再確認と見直し等、万全な準備体制の確立と周知に徹底(マップ等の配布) ⑥、駅前や主要交差点及び商店街等に防犯カメラを設置</p>
<p>7. 多摩区の歴史 (⑩、⑰)</p>	<p>⑩、区内の心に残る風景など思い出の写真を多摩区民から募集し、冊子にまとめる。 ⑰、平成24年に区政40周年を迎えるので、郷土愛について考えるとともに、多摩区の歴史を振り返ってみる。</p>
<p>8. 地球環境推進 (④、⑱)</p>	<p>④、環境活動の活性化と環境教育の充実を図る ⑱、マイバックや緑のカーテンなど、地球環境問題を身近なところから考えていく。</p>

区民会議委員の把握している課題

①高齢者、子育て母親が利用しやすい地域での集会場所設置	長尾老人いこいの家／こ文に通うのは遠距離の人々が難点あり、多摩川沿線及び堰地区からの利用者が難渋している。高齢者、子育て中の若い母親達の為に、近隣に集合場所の設置検討
②子ども、学校、おとな達がいきいきとした地域社会をつくろう	<p>1、いじめ、虐待、子ども大人もマナーの欠如が目立つ昨今、共育を考え愛の声かけ運動。</p> <p>2、地域の子ども達の健全育成を支援できる地域社会づくり。</p> <p>3、家庭、学校、地域社会の連携、連帯によって共に育つ環境づくりの促進、ネットワークづくりの強化。(地域教育会議、子ども支援室等との協力)</p> <p>4、地域活性化の一環として、又多摩区の魅力的な情報発信のひとつにも“多摩区のうた”をつくる。歌詞は区民からの公募。子ども、大人も心ひとつになれる明るく楽しい「うた」。うたを通してコミュニケーションと交流の輪の拡大。</p>
③防災対策 いざという時の防災対策は充分か	<p>1、防災対策の再確認と見直し等、万全な準備体制の確立と周知に徹底(マップ等の配布)</p> <p>2、区民の防災知識と意識の高揚</p> <p>3、町会、学校、職場、公共施等での日頃の防災訓練、講習会等の実施</p> <p>4、子ども、高齢者等の救援(避難)協力(チームプレー)の確立</p>
④環境まちづくり	<p>環境活動の活性化と環境教育の充実を図る</p> <p>H22～H23で、多摩区における資源循環の環境や課題の把握及び区内の市民活動状況を分析し、H23に活性化のための提言をまとめる。</p>
⑤市民活動を活用した地域コミュニティの活性化	<p>地域で活動している市民団体や個人の活動・人的資源を活かし、地域コミュニティの活性を図る。</p> <p>H22～H23で市民活動の調査・地域の課題の調査を行いH23に提言をまとめる</p>
⑥防犯カメラの設置	駅前や主要交差点及び商店街等に防犯カメラを設置する
⑦地域の連帯感の育成	<p>1、子ども会の活性化・・・年齢制限、少子化等衰退の要因を探り、子ども同士の絆の構築を図る</p> <p>2、ご近所パワーの構築・・・隣同士の連帯感。孤独、防災、子育て等、お隣の力(共助)が必要</p>

⑧藤子・F不二雄ミュージアム開館に伴う商店街などの活性化	商店街連合会や、稲田多摩川観光協会など多摩区観光推進協議会が、地元や近隣から集中するミュージアムへの客層への諸サービス体制を作り、PRの方策を検討、実施していく。年内に、検討、立案し、来秋を目処に継続的に具体化する。
⑨ニヶ領400年記念へ向けての諸イベントの取り組み	宿河原桜まつり、妙楽寺あじさいまつり、中野島音楽祭、多摩区民祭など関連する諸イベントを通して、町会連合会、商店街連合会、稲田多摩川観光協会などが、多摩川から取水して、長い間、恩恵に与ってきたニヶ領用水の保全、改良をPRしていく。
⑩写真による心のふるさとづくり (私の多摩100選)	区内の心に残る風景、家族や友人と撮った写真など一枚の写真に多くの物語があります。その思い出と写真を多摩区民から募集し、冊子にまとめ、販売します。スケジュールは22年～23年に募集し、23年に冊子を作成します。応募が多ければシリーズ化も検討。
⑪健康づくりと交流	健康の維持の為に、1週間に1度のラジオ体操を普及。ご近所の空き地に老若男女が集い交流し、自分の健康は自分で管理。出来れば3大学の学生さんにご指導お願いしたい。普及促進の為に、指導者には謝礼、参加者には記念品を。スケジュールは22年に準備、検討し、23年度に実施する。
⑫地域コミュニティ	現役を退いたシニアの方達の第三の人生が健康で元気な毎日が送れる環境づくり。例えばスポーツ大会、趣味等で交流し、家に引きこもらずに地域活動に参加しやすくする。市民活動の活性化推進にもつながっていく。
⑬地域の住民のクオリティライフ実現のための「地域住民の交流と活動のサポートの場」作りの推進	<p>1、まず区役所内に地域住民の「万(よろず)相談所」としての交流サポート、地域の縁側としての顔の見える関係づくりを応援する場を設ける。</p> <p>2、特に健康シニア層の問題解決のための法律・医療・資産税務及び各種イベント・健康スポーツレジャー等のライフサポートの場づくり。</p> <p>3、KSコミュニティ・ビジネスアカデミー・地元大学等と連携、社会人大学修了者など一定の基準クリア者を登録。シニア世代のキャリアバンク、人材バンクを設け、資格、職能キャリア、技能等でグルーピング化しその相談相手。必要に応じてNPO・高齢者・保育園・幼稚園等へも応援派遣する体制の構築。区民に役立つ区役所 そんな絆で結ばれ、温かい血の通った顔の見える関係の「場」作りを目指す。</p> <p>4、スケジュール的にはH22年度中に骨格作り、平成23年度中に調整・整備、平成24年度4月には組織の立ち上げを目指す。</p>
⑭高齢者の一人暮らし、こどもを通じた友達しか知り合いがないなど、地域でのつながりが薄い	<p>助け合いシステムの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団地の中、町内会などの中での交流会、イベント、お祭りなどを促し、そこで一緒に参加した人は「ご近所さん」という意識をつける ・助け合いシステムを行っている団体のノウハウを参考にさせてもらう。

区役所が把握している課題

⑮公園を拠点としたコミュニティづくり	<ul style="list-style-type: none">・第2期区民会議からの引継ぎ事項・健康づくりと介護予防を目的とした「みんなの公園体操」や、身近な公園での「こどもの外遊び」事業を地域に根ざすことによって、コミュニティの活性化を目指す。・公園を維持している町内会などの立場から公園の利用について考える。
⑯多摩区40周年	<ul style="list-style-type: none">・平成24年に区政40周年を迎えるので、郷土愛について考えるとともに、多摩区の歴史を振り返ってみる。・区政40周年を記念した、イベントや講演を行ってはどうか。
⑰地球環境推進	<ul style="list-style-type: none">・マイバックや緑のカーテンなど、地球環境問題を身近なところから考えていく。・他の区では、第1期区民会議(幸、中原、高津)第2期区民会議(川崎、高津、麻生)で行っている。

所属する部会について

	部会名	部会員
部会A		
部会B		
部会C		

部会名候補

- 案①
(仮称)地域コミュニティ部会
(仮称)環境・観光部会

- 案②
(仮称)地域コミュニティの活性化部会
(仮称)高齢者が住みやすい地域づくり部会
(仮称)市民活動の活性化部会
(仮称)子どもが住みやすい地域づくり部会
(仮称)観光推進部会
(仮称)多摩区の歴史部会
(仮称)防犯、防災対策部会
(仮称)地球環境推進部会

委員

池野委員 石橋委員 井出委員 稲田委員 江藤委員 大津委員 清宮委員
栗田委員 国保委員 櫻井委員 関委員 辻野委員 戸高委員 西山委員 初
田委員 原嶋委員 原田委員 本多委員 丸委員 吉田委員

1 区民会議の進め方

		平成22年度										平成23年度													
		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
専門部会	企画部会 (仮称)																								
	テーマA 部会																								
	テーマB 部会																								
	テーマC 部会																								
			第1回全体会議 (7月26日)				第2回全体会議 (11月8日)				第3回全体会議	中間報告		第4回全体会議			第5回全体会議			第6回全体会議		フォーラム		第7回全体会議	区長報告

選定された課題について、A部会とB部会の2つの部会を設置し、それぞれの部会で異なる課題について審議を同時並行で行う。

例えば) A部会 ⇒地域コミュニティ部会
B部会 ⇒地球環境推進部会

また、区民会議前には、企画部会を開催し、審議内容について調整する。

企画部会
(組織)

委員長・副委員長・テーマA部会長、副部会長・テーマB部会長、副部会長と他若干名によって構成される。

(役割)

A部会とB部会の調整を行い、全体会議やフォーラムの内容について決定する。

フォーラム

(役割)

区民会議の取り組みを広く区民に知ってもらい、取り組みに対する意見交換を行うことで、区民会議で取り組んでいる地域課題に対して共に考える機会とする。

2 区民会議の広報について

区民会議については、区民に広く知っていただくために下記の取り組みを行っています。

- ・区民会議の内容については、区民会議ニュース(A3両面印刷)を発行して、町内会に回覧をお願いしています。
- ・区民会議が主催で、フォーラムを開催し、区民と意見交換を行っています。
- ・会議は原則公開しています。開催の情報や開催結果については、ホームページへ掲載しています。
- ・会議の議事録をホームページ上に掲載していますので、議事録の確認を会議のたびにお願いします。

